



かどっぴー・がわっぴー

ふれあい

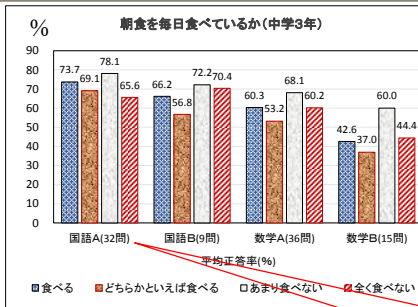
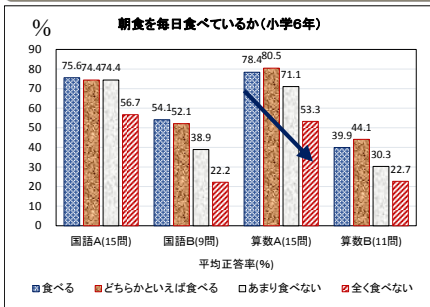
平成29年11月No.7
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

家庭での基本的な生活・学習習慣と学力の関係について！

本年度1学期に実施された全国学力学習状況調査の中で「児童生徒の意識調査」がありました。この調査結果を「基本的な生活・学習習慣と学力調査の正答率との間に何か関係がみられるか」という観点で独自に分析した結果をお知らせしたいと思います。お知らせするデータは紙面の都合上、一部のみとなりますが、昨年度も同じような調査結果をお知らせしていますので比較してみられるのもよいと思います。(役場HP:教育研究所で検索できます。)

①～「早起き・早寝・朝ご飯」と学力との関係は・・・《ある・ない》？

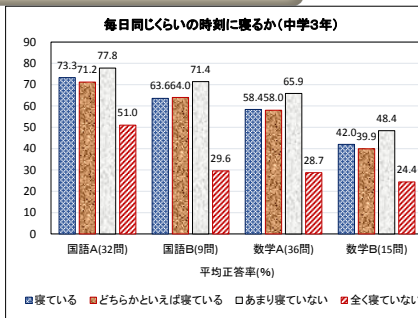
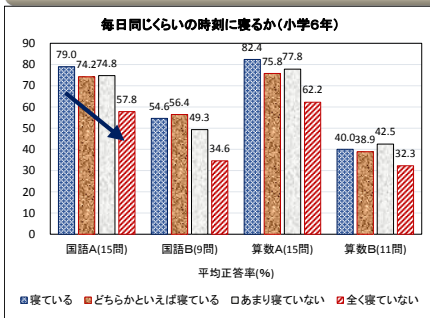
設問1. 朝食を毎日食べていますか〔グラフ～左が小6・右が中3〕



小6は国語・算数の基礎・応用とも「食べる」から「全く食べない」まで明確な右下がりグラフです。朝食は学力に大きく影響することがわかります。中3では相関関係はそれほど見られませんが、成長過程の子どもには重要な要素です。

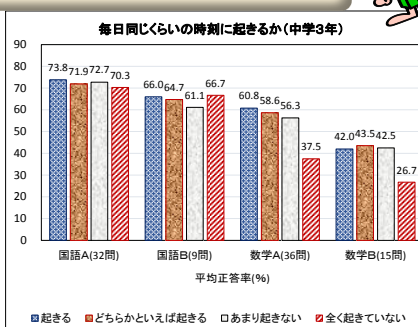
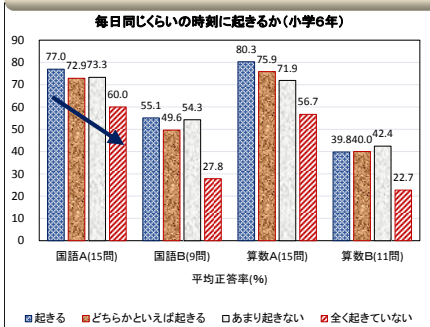
設問2. 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

グラフ上の数字は正答率を示しています。



小6は設問1と同じ結果です。中3は「あまり寝ていない」が一番高く、中3生徒数の約25%に当たりますが、ほぼ右下がりグラフとみてよいでしょう。中3という時期的に部活や家庭学習で毎日同じ時刻に寝ることが難しいのかもしれません。

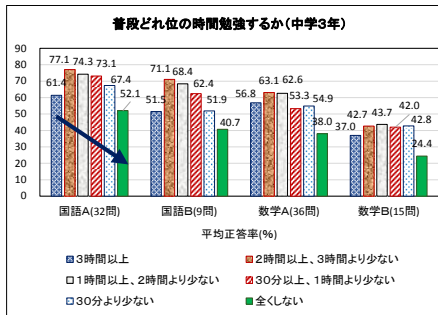
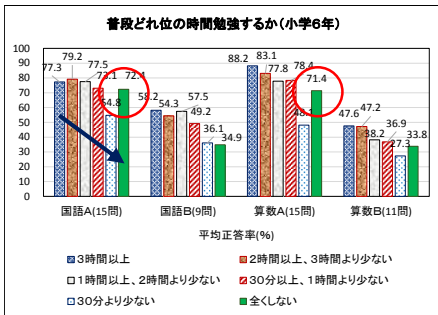
設問3. 毎日同じくらいの時刻に起きていますか



小6は「起きる時刻」も正答率に大きく影響していることがわかります。中3も小6ほどの差はないですが、やはり影響が見られます。特に数学で大きくなっています。こうしてみると「早起き・早寝・朝ご飯」は学力アップにとっても重要で大きな影響力を持っていることがわかります。

②～家での勉強の仕方と学力の関係は・・・《ある・ない》？

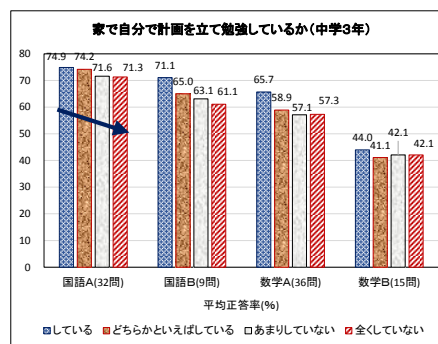
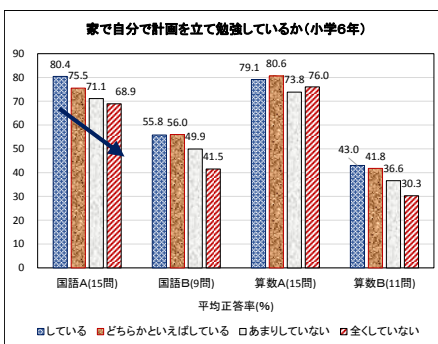
設問4. 普段1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（授業時間以外）



小・中ともに勉強時間が多いほど正答率が高くなっています。小6の国・算基礎問題で「全くしない」の正答率が高いですが、よく見ると応用問題では勉強している人より低くなっています。結局努力して勉強する人のほうが力は付くということのようです。



設問5. 家で、自分で計画を立てて勉強していますか



計画を立てて勉強するほど学力は高くなるのがよくわかります。先を見通した学習習慣を身に付けさせたいものです。今日やるべきことは何かを整理して取り組みましょう。宿題・復習・予習・得意教科・不得手教科など自分に合った計画づくりが大切で、習慣化に繋がります。



今回は、基本的な生活・学習習慣に関わった設問の分析結果について一部お知らせしたところですが、他の設問についても教育研究所、各小・中学校で分析しており、今後の学業指導に役立てていきます。また、「子どもの成長を支える“かどがわ4か条”」に関わった設問の分析も終了していますので、機会がありましたら、本研究所だより「ふれあい」を通してお伝えしたいと考えています。

心に残った本の一節！



「根気」が強くなるコトバ～「他人と自分を比べなくなったとき、人は本当に自分を好きになれる」

小学6年生の頃、他の人と比べてばかりで、「私なんか」が口癖だった私に、担任の先生が言ったひとことです。私は私。自信と信念を持って、これからも歩いていきます。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

相談電話（門川町教育相談室）
Tel・Fax 63-1566

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

～～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）～～～

